

Press Release

2015年 1月 28日

報道関係 各位

国内初、ファイア・アイの「メール専用」標的型攻撃対策クラウドサービスを販売開始

【特徴1】 従来型セキュリティ対策ではカバーしきれない標的型攻撃を検知

【特徴2】 Microsoft Office 365 や Google Apps などのクラウドメールと連携

【特徴3】 無償トライアルによりサービス導入の意思決定を支援

ソフトバンク・テクノロジー株式会社（代表取締役 CEO：阿多 親市、本社：東京都新宿区、以下 SBT）とファイア・アイ株式会社（所在地：東京都千代田区、代表：茂木正之、本社所在地：米国カリフォルニア州ミルピタス、以下ファイア・アイ）は、業務協業を行い、ファイア・アイがクラウド型で提供している標的型攻撃メール対策ソリューション「FireEye Email Threat Prevention（以下 ETP）」の国内販売を開始しますのでお知らせします。

この協業により、SBT は ETP の販売および一次サポートを行うとともに、Microsoft Office 365 や Google Apps などクラウド型のメールシステムと ETP を連携させるシステム構築サービスを、2015年 2月より提供します。

ETP と一次サポートの参考提供価格は、1,000 ユーザーの利用で月額 440 円/ユーザー（税別）です。（3年一括購入の場合）

■ ETP について

メールによるサイバー攻撃は、最も広く使用される攻撃手段の 1 つです。特に、特定ターゲットの重要なデータや個人情報を奪おうとする標的型サイバー攻撃「スパイ・フィッシング攻撃」は、従来型セキュリティ対策ではカバーしきれないことから、サイバー攻撃に多用されています。

ETP は、このようなメールを利用した高度な標的型サイバー攻撃からネットワークを保護するクラウド型のソリューションです。

ソリューションを導入した企業では、メールが ETP に自動的に転送され、特許技術の FireEye Multi-Vector Virtual Execution（※MVX）エンジンを利用して、シグネチャ・マッチングに依存せずすべてのメール添付ファイルと本文中の URL を解析し、攻撃をリアルタイムで検知して防御します。

クラウド型ソリューションのため、メールシステムをクラウドに移行している企業では、オールクラウドでの運用を実現します。

※MVX：独自の仮想化テクノロジーにより構築された仮想環境のもと、リアルタイムでシグネチャレスのマルウェア解析を行う仮想実行エンジン。ゼロデイ攻撃などを招く疑わしいコードを含んだ Web オブジェクト、電子メールの添付ファイルなどに対し、複数の仮想マシン/ネットワーク環境を用いた並行処理により、高精度な動的解析を実施する。



『報道関係者様からのお問い合わせ』
管理本部 経営企画部 皆口

TEL:03-6892-3063 Email:sbt-pr@tech.softbank.co.jp

『お客様からのお問い合わせ』
お客様窓口

TEL: 03-6892-3154 Email:sbt-ipsol@tech.softbank.co.jp

▼ SBT が提供する「ETP」に関する詳しい情報は以下の Web サイトをご参照ください。

<https://www.softbanktech.jp/service/list/fireeye/#etp>

■ 無償トライアル「Proof of Value サービス」の実施について

今回の取り扱い開始と同時に、SBT では ETP をご検討中のお客様に、無償トライアルおよび標的型攻撃の診断サービス(PoV: Proof of Value)の提供を開始します。

本サービスでは、お客様の実際の環境で ETP を一定期間稼働させ、標的型攻撃の有無を判定します。

トライアル期間は 2 週間となります。

日々進化する実際の標的型攻撃を可視化できるため、今とるべき最適な対策を導き出すためのスタートアップに役立ちます。

▼ 無償トライアルについては以下のページからお問合せください。

<https://info.softbanktech.jp/public/application/add/505?param=363>

今回のサービス開始について、ファイア・アイより以下のコメントをいただいております。

私ども FireEye 社はソフトバンク・テクノロジー様との FireEye E-mail Threat Prevention のクラウドサービスの拡販協力をスタートできたことを大変喜ばしく思います。世界中のほぼすべての企業に標的型攻撃の脅威が迫っています。FireEye はお客様の IT インフラを守るべくアプライアンス製品群をご提供してきました。今、先進的なお客様を中心に IT インフラのクラウド化が進んでいます。ETP がそのようなお客様へのメールによる標的型攻撃を防御する優れたクラウドサービスです。ソフトバンク・テクノロジー様が日本の先進的なお客様を数多くお守りできるよう、FireEye 社はバックアップしてまいります。

FireEye Inc.,
Senior Vice President, Worldwide Sales,
John McGee 氏

私ども FireEye 社はソフトバンク・テクノロジー様が FireEye E-mail Threat Prevention を検証し、その性能を高く評価いただき、拡販を決めていただいたことを大変喜ばしく思います。ETP はメールによる標的型攻撃対策アプライアンス EX シリーズと同じく、FireEye 独自特許技術 FireEye Multi-Vector Virtual Execution エンジンを活用し、標的型攻撃を検知・防御する、他社にない非常に優れたクラウドサービスで、マイクロソフト・オフィス 365 や Google Apps などの企業向けクラウド型のメールサービスを利用されるお客様に襲い掛かる標的型攻撃対策に最適です。ソフトバンク・テクノロジー様がご持ちの技術ノウハウで多くの日本のお客様で確実な導入が進むことを期待しています。

FireEye Inc.,
Senior Vice President of Products,
Manish Gupta 氏

SBT はこれまで、セキュリティ事業に注力し、様々なサービスを提供してまいりました。今回の取り扱い開始によって、サイバー攻撃への対策手段のバリエーションが増えることで、お客様の安全なシステム環境の実現に貢献できると確信しております。

今後も情報セキュリティ対策ソリューションの提供を通じて、企業における情報セキュリティの普及、浸透、向上に貢献してまいります。

■ ファイア・アイ株式会社について

ファイア・アイ株式会社は、未知のマルウェアやゼロデイ攻撃などの多様かつ高度なサイバー攻撃に対して、業界をリードする技術により先進の標的型攻撃対策ソリューションを提供するセキュリティ企業です。

URL : <http://www.fireeye.com/jp/ja/>

※本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

『報道関係者様からのお問い合わせ』

管理本部 経営企画部 皆口

TEL: 03-6892-3063 Email:sbt-pr@tech.softbank.co.jp

『お客様からのお問い合わせ』

お客様窓口

TEL: 03-6892-3154 Email:sbt-ipsol@tech.softbank.co.jp